

造形大大学院生が地域協力隊員 仕組みにグッドデザイン賞



磯田達伸長岡市長と面会した(左から)星野洸太さん、
軍司円さん、三浦尚悟さん、有馬幸さん＝長岡市大手
通1

だけといい、10月にグッドデザイン賞を受けた。

現在は大学院修士1年の有馬幸さん(25)、三浦尚悟さん(23)、修士2年の軍司円さん(24)、星野洸太さん(24)の4人が携わる。全員が県外出身。授業や研究の傍ら、週3日は地域おこし協力隊として、地域の課題解決に取り組んでいる。

11月上旬にあった磯田市長への報告で、日本酒の魅力発信に取り組み軍司さんは、「酒瓶を使った雑貨の商品化に取り組みたい」と意欲を示した。障害のある子どもたちの社会参画支援に取り組み星野さんは「卒業後も長岡に残り、活動を続けたい」と決意を述べた。

磯田市長は「教育プログラムをつくってほしい助かる。皆さんには長岡に関わってほしい。引き続き頑張ってください」と激励した。

した。

学生と地域おこし協力隊を兼務する取り組みは「半学半域型」と呼ばれ、長岡造形大は2020年度に開始した。大学によると、大学院生としての研究拠点と、協力隊員の活動拠点が同一市内にあるのは長岡市

長岡造形大学の大学院に在学しながら、長岡市の地域おこし協力隊として活動する「イノベーター育成プログラム」が2021年度のグッドデザイン賞を受賞した。研究と地域課題の解決の両立を図る仕組みを「デザイン」したことが評価された。協力隊の院生4人がアオーレ長岡に磯田達伸市長を訪ね、受賞を報告